

かえる便り 29年度32号

平成30年1月30日

大寒の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

最近、自分自身を知っているようで意外と自分を知らないものだと感じています。

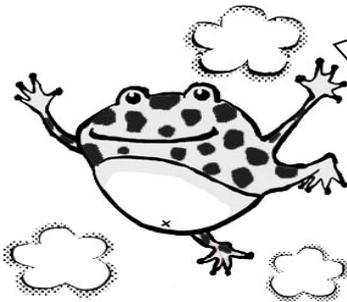
だからこそ、自分を知る努力をしなくてはならないと思っています。自分のことより他人のことがよく分かることがあります。自分を客観的に見ることができればよいのですが、なかなか客観的に見ることができないものです。だから、自分のことをよく知っている人に意見や批評をしてもらうことは、自分を伸ばすうえで大切なことなのです。

敵を知り 己を知れば 百戦あやうからず

自分の人生の道標となる“師”を持つことは本当に大切だと思います。年齢を重ね地位が上がるほど人から諫言されることが少なくなるため尊大に構え、それまでの名声を失う人がいます。幸い、私は師と仰ぐ人がいます。50年近く接していますが未だに怖い存在です。言われていることが正しいから、自分の未熟さが分かり怖いのです。

老木になるまで 花は散らで残りしなり

(老いても、その老木に花が咲く という意味です)



徳川綱吉は部下に「上様も剣術の稽古をなさってくださいませ。戦場に出たとき必ず役に立ちましょう」と云われた際、『剣術は戦場に出て実際に働く者どもが練習すればよい。將軍のやることは剣をとって闘うことではない。いかにして戦に勝つか。配下の者どもの能力をいかに引き出すかが私の仕事なのだ』 指導者としての基本ですね!!

先日の練習試合は寒波のため大変寒く部員達の健康が心配でしたが、卒業生の保護者の方と皆様方のご支援で昼食時に温かい豚汁を食べることができ大変助かりました。また、浜田高校の配慮でストーブを出していただいたので体調不良者も出ることなく済みました。本当にありがとうございました。

暑さ寒さや苦しい中で練習や試合をすることで、心身を逞しく育てられると思いますが、あのような寒さの中での試合は出来るだけ避けたいものです。しかし、新人戦が近いので止むを得ません。今週末に試合が始まりますが、手洗いやうがい等自己管理をして体調を整えインフルエンザに罹らないことを願う次第です。